



片柳中学校だより

片 柳

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

さいたま市立片柳中学校

第7号 平成29年9月29日発行

さいたま市見沼区大字御蔵551

TEL 048-683-3173

よい集団となってきました「体育祭をふり返って」

校長 島村 暁

2学期の大きな行事のひとつである体育祭が終了しました。その閉会式のなかで教頭先生からの指導講評があり、各種目・演技に真剣に取り組んでいたということは、私も同感です。さらに、この紙面を使い、2学期の始業式に話したことについての講評をしたいと思います。

私は、みなさんにより**よい集団**となること、そして「**クラスの一員としての誇りと責任**」「**自分のクラスがもっと好きになれるように**」ということをお話しました。そして、このことが準備や練習の中で体験したり、感じてくれたりすることを願っていましたが、その願いはいくつも叶えられたと思います。今回は、そのことについて紹介します。

体育祭予行の日だったと思います。ムカデ競走で怪我をした生徒の様子を見に保健室にいたときのことでした。ある生徒が保健室に入ってきました。「話をしてもいいですか」といって、その生徒は怪我をした友達の横に座りました。「俺たち、クラスみんなで話し合ったんだ。君に無理なことを頼んでここまでやってきたけれど、大丈夫…?」と話し始めました。そして、「今日みたいに怪我をして、怖いとか、嫌だなと思っているなら、このまま君に無理なことを頼めないけど…どお」「でも…、実際に君にしか頼めないんだけど」と話が続きました。すると「俺、大丈夫だから、俺、やれるから」という言葉が怪我をした生徒から返ってきました。その会話を聞いて、クラスとしての温かさをかじりました。そして、よい集団になるための一歩があったと実感しました。

体育祭の当日にも、その一端をみることができました。どの競技を見ているか、「○○、がんばれ!」と声援を送る姿を見ることができました。このことが、「**クラスの一員**」ということだと私は思います。また、集団種目のなかで、自分の責任を感じて涙ぐむ人が何人もいました。勝負には勝ち負けがあります。全ての競技をみましたが、誰もが本気で取り組んでいました。だから、本当なら責任を感じることはないのです。精一杯やったのだから、それでいいのです。でも、責任を感じるということは、**自分のクラスを大切に思う**からだと思います。もっと言えば、体育祭のスローガンでもある「**仲間とともに**」という気持ちが強くあったのだと思います。

この体育祭という行事を通してみなさんが見せてくれたいろいろな姿、気付いていないかもしれませんが、確実に**よい集団**(学級)へと成長してくれていると思います。閉会式の佐藤さんの言葉にもあったように、「これからの学校生活に生かして」ほしいと思います。10月末には合唱コンクールがあります。さらに、よい集団(学級)へと成長してくれることを期待します。

文末になりましたが、9月16日(土)たくさんのご来賓、保護者の方にご来校いただき、体育祭を開催することができました。また、当日は天候が配もされ、その関係から競技の開始時間や一部プログラムの変更等をさせていただきました。急な変更等についてご理解、ご協力いただきありがとうございました。